

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会 news

2012年9月27日発行 No.36

8・24 薬害根絶デー！！ 真夏の暑い中薬害根絶を訴えました～

参加者の感想です♪♪

- やっぱり暑かった。でも、スモンやサリドマイド、肝炎の被害者が訴えている姿を目の前にしたら…でもヒートアイランドの官庁街やっぱり暑い
- 被害者の方のビデオを見て薬害被害のひどさを知った。こんな機会がなければ知りえなかった。でも自分だけ知ってもダメ、このことを一人でも多くの人に伝えなければと思った。知らなきゃ・知らせなきゃ。
- 薬害被害者の話しを聞くワークショップでMMRワクチンに参加した。自分も小さな子供を持つ母親として他人事ではないと感じた。
- カミングアウトにより原告と支援者の絆は強まり、運動も広がる。でも、原告一人ひとりへの重圧は想像をはるかに超えて厳しいことが語られた。明日は我が身が薬害です。本当に他人事では無い…おこさない、おこさせないために考え、研究し、行動していかないと。



イラスト提供「web サイト赤ぞきんちゃんの散・歩・道」

薬害根絶ってなに??シリーズ第3弾! 薬害エイズ事件 その3

～裁判に携わった薬剤師 東葛病院 藤井さんとの対話より～

♪2回で終える予定でしたが、インタビューで藤井さんが語っていたこと載せられてない…と思い、続編です。

藤: 被害者(高校生)「生まれなければよかった」、親「私たちがうまなければよかった」、私「なぜ被害を受けた側の彼がなやまなくてはいけないのか?」本当に肩が重くなってきて、今日の講演をみんなに知らせないと自分が潰れそうだった。

藤: 何で非加熱製剤を止めて安全なクリオ製剤を使わなかったの…に対して国はなんて言ったと思います! だってパニックになるでしょう…ですよ! 人命の問題よりパニックをおこさない国の面子を優先したんですよ。

聞: 今の福島と全く一緒じゃない。国として本当に反省していないから、同様のこと平気で繰り返す。サリドマイド、スモン…水俣から反省していない。

藤: 厚生省も嘘をつくんだ…そこから免許をもらっているんだ…寂

聞: イレッサ下書き問題、佐賀の原発下書き問題、厚労省になっても、問題が替わっても権力の「嘘」「偽装」がまかり通っている。

藤: 薬害の問題に限らず僕たちは学ばなければならないと思う。戦争のことも、公害のことも、今の震災のことも、福島のことも、リベラルな教養に育まれてこそその自由が大事。

聞: それが、人や生き物に優しい社会を創造することにきっと繋がる。



『薬害イレッサ訴訟の公正判決を求める要請署名』

の取り組みにご協力ください!

☆署名用紙はこちらからでもダウンロードできます☆

http://www.gaiki.net/yakugai/gef/lib/shomei_sprm.pdf

(外苑企画商事>薬害根絶>薬害イレッサ書庫 内)